

学修概要

歯内療法の概要を理解し、歯内療法領域の代表疾患である歯髄炎および根尖性歯周炎それぞれの症状、処置方針に関する知識を身につける。

■教科書：最新歯科衛生士教本

歯の硬組織・歯髄疾患 保存修復・歯内療法（医歯薬出版）

■参考書：なし

■授業時間：火曜日 9：00～9：50, 10：00～10：50

■オフィスアワー：鈴木 裕介 (suzuki.yusuke@nihon-u.ac.jp)

火曜日 17:00～18:00

■授業の方法：スライドを使用し、適宜プリントを配布する。

■準備学習・ 事前に必ず教科書を読み、授業内容を理解しておくこと。
準備学習時間：各々授業時間相当を充てて復習を行うこと。

■成績評価方法：定期試験（100％）を基本とする。

■注意事項：講義は教科書・ノートを持参すること。

■実務経験：鈴木裕介：日本大学歯学部歯科保存学第Ⅱ講座に所属しており、
歯科治療、とくに歯内療法領域の経験をもとに、歯科医師の立場
から、本教科で学ぶ内容の理論がいかに実際に活かされるかにつ
いて学ぶ場を提供したい。

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
第1回 11月12日 鈴木 裕介	1. 歯内療法学とは 2. 歯内疾患の概要と原因 (教) pp.114-118	<ul style="list-style-type: none"> 歯内療法学の目的について学ぶ。 歯内療法領域の主な疾患の概要と原因について学ぶ。
第2回 11月19日 鈴木 裕介	1. 歯髄疾患，根尖性歯周組織疾患の分類と症状 2. 歯髄疾患，根尖性歯周組織疾患の処置 (教) pp.118-127	<ul style="list-style-type: none"> 歯内療法領域の代表的な疾患の分類，症状および処置方針について学ぶ。 歯内療法特有の診査・診断法について学ぶ。
第3回 11月26日 鈴木 裕介	1. 歯髄保存療法 2. 歯髄除去療法 (教) pp.128-144	<ul style="list-style-type: none"> 可逆性歯髄炎に対する各治療法について学ぶ。 不可逆性歯髄炎に対する治療法，特に抜髄法の術式と使用器材について学ぶ。
第4回 12月3日 鈴木 裕介	1. 根管治療 (教) pp.145-161	<ul style="list-style-type: none"> 根管治療における基本概念および術式について学ぶ。

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
第5回 12月10日 鈴木 裕介	1. 根管充填 2. 根未完成歯の根管治療 (教) pp. 161-171	<ul style="list-style-type: none">• 根管充填の意義について理解し、その術式および使用器具について学ぶ。• 根未完成歯に対する根管処置について学ぶ。